

[様式 2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	2 (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	トリチウム汚染水処理
御提案者	株式会社コアプロ技研 代表 橋本善三
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>情報公開に関し 技術提供先と NDA (機密情報契約) の為、相手企業名と詳細情報は一般公開不可とさせていただきます。</p> <p>詳細については補足説明資料を参照願います。</p> <p>当社が日本代理店を務める海外企業に対し、福島原子力発電所汚染水を処理できないかと打診したところ、トリチウム汚染水処理に実績が有り、トリチウム汚染水処理を協力するとの回答が得られ、提案させて頂くものです。</p> <p>特徴：処理費用が安い トリチウム汚染水処理コストについて ALPS の後処理としますと、工事費用と施設の運転費用によりますが、かなりラフな見積もりでいえば、汚染水 1 トン当たりの処理費用は 10 万円程度になります。 コストで大きなものは運転エネルギー (電気+熱) とトリチウム除染機器類の汚染された部品の安全な処理費用となります。</p> <p>仕様：別紙参照</p> <p>性能：ALPS 処理後の $1 \sim 5 * 10^6$ Bq/l の汚染水を $6 * 10^4$ /l 以下に下げる事が可能 処理量 400 トン/day, 可能 800 トン/day スケールが倍の容量も可能</p> <p>提案する、トリチウム除去システムは飲料水の EPA 規定以下のレベルまで汚染トリチウムを除去分離する事が出来ます。</p> <p>トリチウム汚染水処理装置の設計、製作について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 200CC の汚染水を分析しどのような構造か解析、解析結果をもとに反応装置の設計を行います。 2) 福島原発 500L の汚染水を用いて実証試験をパイロットプラントで行い、反応装置を検証し、大型プラントを設計、製作と成ります。 	

2. 備考（以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします）

数か国でプロトタイプが稼働中。

短時間で導入することが可能です。

・開発・実用化に向けた課題・留意点

設計に関し、汚染水のサンプル分析が必要 約 200 C C
性能を実証する為にテスト用汚染水サンプル 500 L 必要
ただし、汚染水の日本国外持ち出しが必要となります。

・その他（特許等を保有している場合の参照情報等）

（備考）技術提案募集の内容（6分野）

- ① 汚染水貯蔵（タンク等）
- ② 汚染水処理（トリチウム処理等）
- ③ 港湾内の海水の浄化（海水中の放射性物質の除去等）
- ④ 建屋内の汚染水管理（建屋内止水、地盤改良等）
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理（遮水壁、フェーシング等）
- ⑥ 地下水等の挙動把握（地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等）